

auカブコム証券株式会社


2021年3月期 第3四半期

決算説明資料

2021年1月28日



au カブコム証券

A member of  MUFG

ミッション

すべてのひとに資産形成を。

資産形成が求められる時代に、
機関（プロ）と個人の垣根を越えて、
すべてのひとが、もっと自由で豊かな投資活動ができる様にします。

経営ビジョン

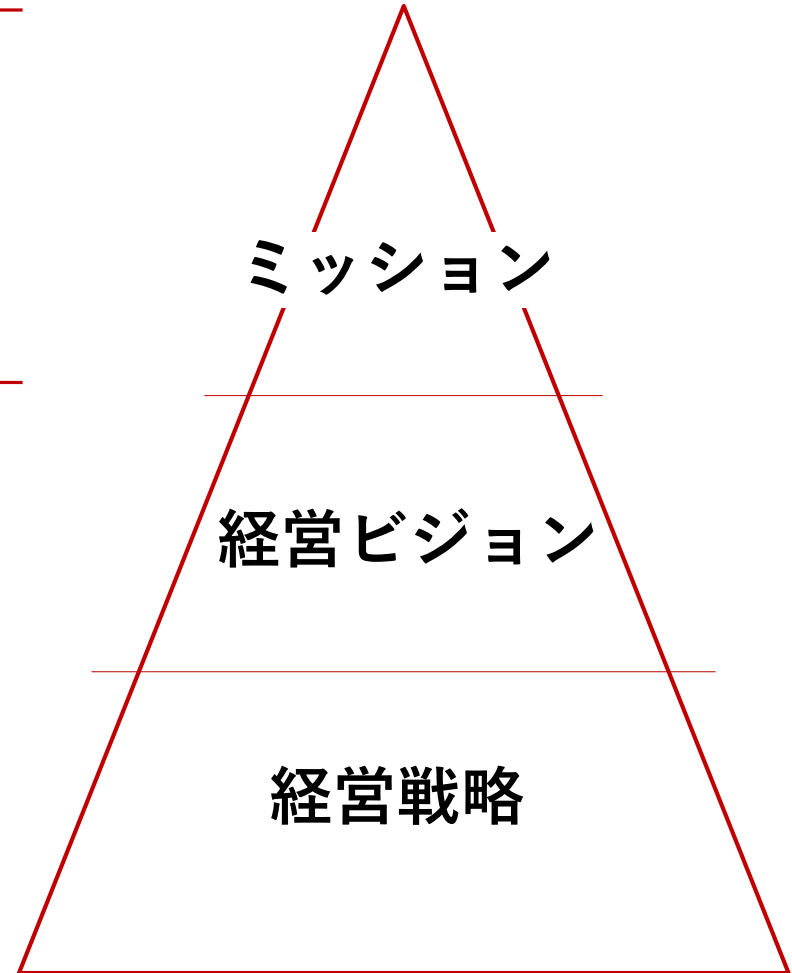
ONE AND ONLY

先進性、多様性ファースト。

常にデジタル・トランスフォーメーションし続ける先進性と
変化が激しい時代に対応する多様性を発揮し、
お客様の投資成績向上を徹底追及します。

3社の強みで、生み出す。

総合金融機関としてのMUFGの信頼、
au・KDDIの持つスマホ経済圏、
そしてIT証券黎明期から脈々と培われたカブコムのデジタルテクノロジー。
タッグを組んだ3社の強みで「他に無い」サービスを生み出します。



決算サマリ：20Q2対比

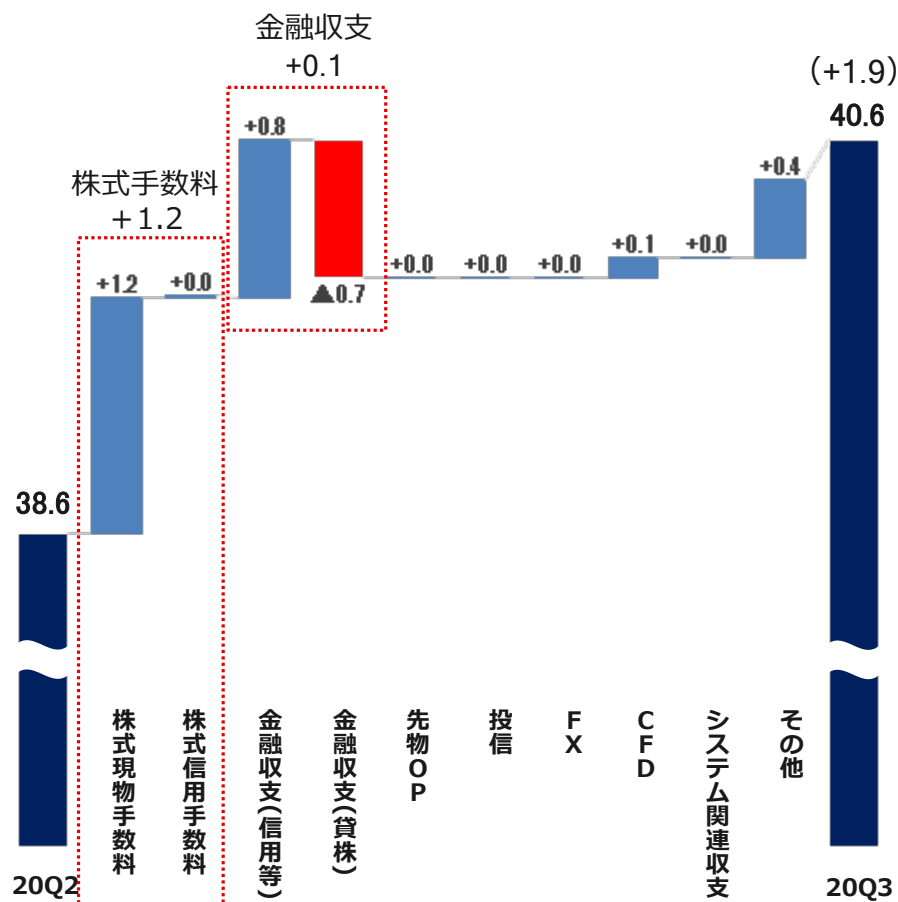
- 市況好調。純営業収益は40.6億円（+5.2%）。
- 販管費はコスト抑制も、取引・口座の増加により+0.8億円（+2.7%）。
- 上記より、経常利益8.9億円（+16.6%）。当期利益5.8億円（+10.6%）。

単位：億円	20Q2	20Q3	増減額	増減率
営業収益	46.2	48.9	+2.6	+5.6%
純営業収益	38.6	40.6	+1.9	+5.2%
販管費	31.0	31.8	+0.8	+2.7%
営業利益	7.6	8.8	+1.1	+15.3%
経常利益	7.6	8.9	+1.2	+16.6%
当期純利益	5.2	5.8	+0.5	+10.6%
株式等個人委託売買代金/日	13,335	14,272	+937	+7.0%
信用買残高/週次平残	22,783	24,848	+2,065	+9.1%

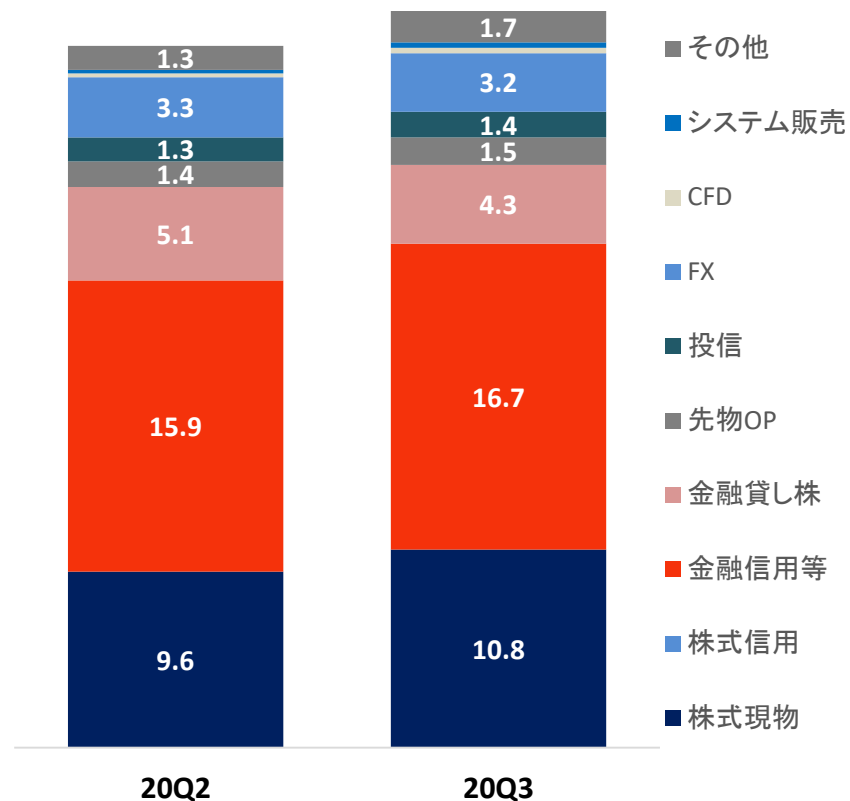
純営業収益：20Q2対比

- 市況好調により取引増加、純営業収益は+1.9億円。
- 内、金融収支は+0.1億円と横ばいも、株式手数料は+1.2億円と収益の増加を牽引。

純営業収益増減内訳(億円)



純営業収益内訳構成(億円)

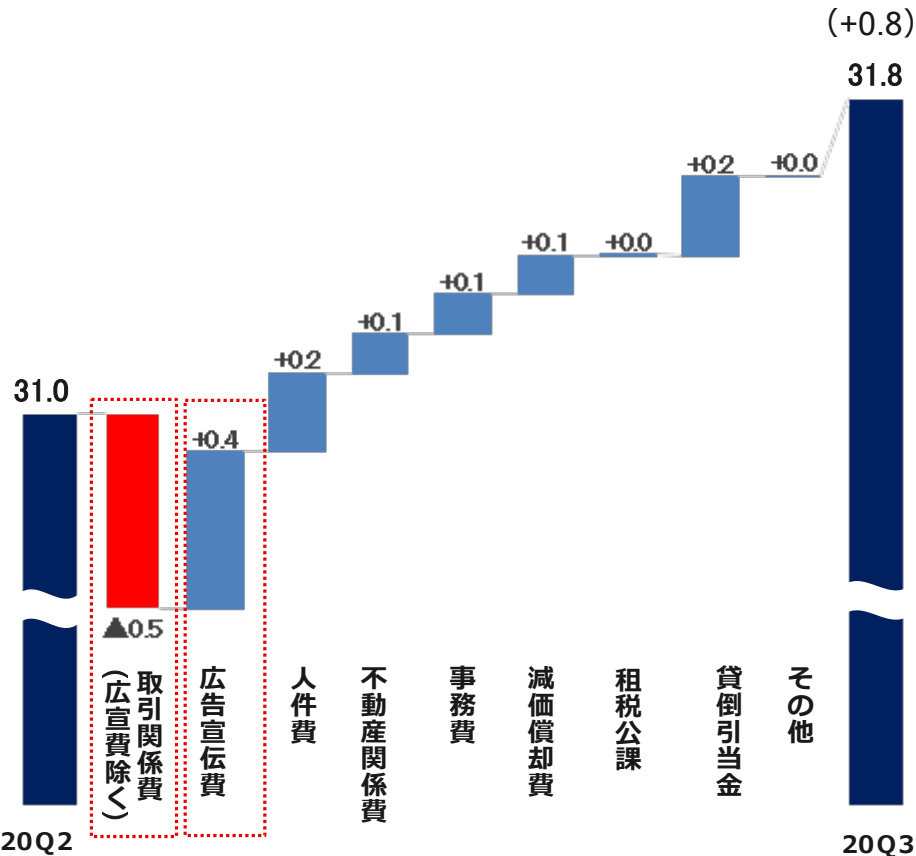


※ 第二小数点以下切捨のため、増減は完全に一致はしない

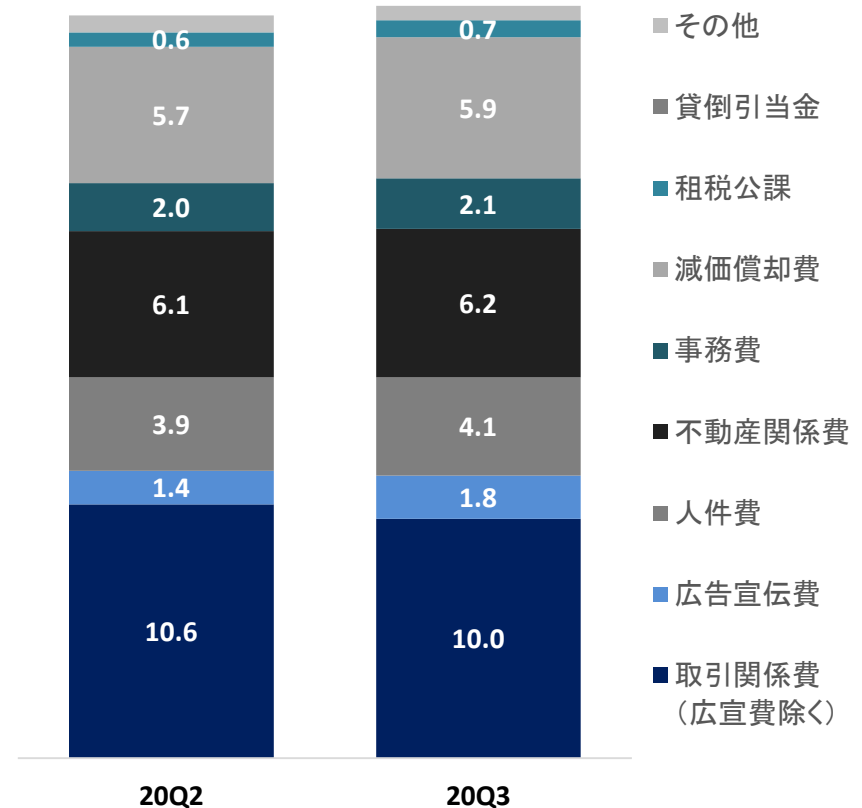
販管費：20Q2対比

■ au経済圏からの顧客増加に向け、広告宣伝費等が増加。販管費+0.8億円。

販管費増減内訳(億円)



販管費内訳構成(億円)



- その他
- 貸倒引当金
- 租税公課
- 減価償却費
- 事務費
- 不動産関係費
- 人件費
- 広告宣伝費
- 取引関係費(広宣費除く)

※ 第二小数点以下切捨のため、増減は完全に一致はしない

※ 不動産関係費 = 不動産費(支払家賃) + 器具備品費(システム経費)。減価償却費は、システム投資によるものが主

決算サマリ：前年対比

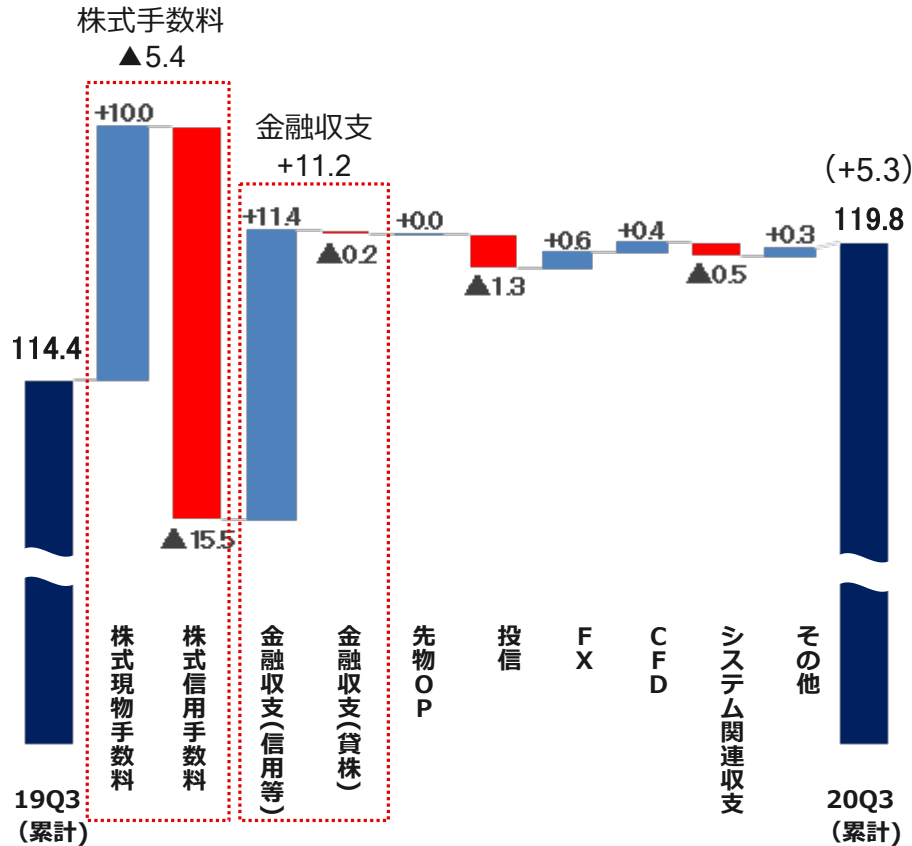
- 市況好調。純営業収益は119.8億円（+4.7%）。
- 販管費は+5.5億円（+5.7%）も、特殊要因の貸倒引当金6.2億円を除けば減少。
- 当期純利益8.3億円（▲38.4%）ながら、特殊要因を除けば+1.0億円増益（税金未考慮）。

単位：億円	19Q1-3	20Q1-3	増減額	増減率
営業収益	145.2	144.6	▲0.5	▲0.4%
純営業収益	114.4	119.8	+5.3	+4.7%
販管費	97.2	102.8	+5.5	+5.7%
営業利益	17.2	17.0	▲0.1	▲1.2%
経常利益	18.1	17.2	▲0.8	▲4.6%
当期純利益	13.5	8.3	▲5.2	▲38.4%
株式等個人委託売買代金/日	9,582	14,200	+4,618	+48.2%
信用買残高/週次平残	21,880	22,570	+690	+3.2%

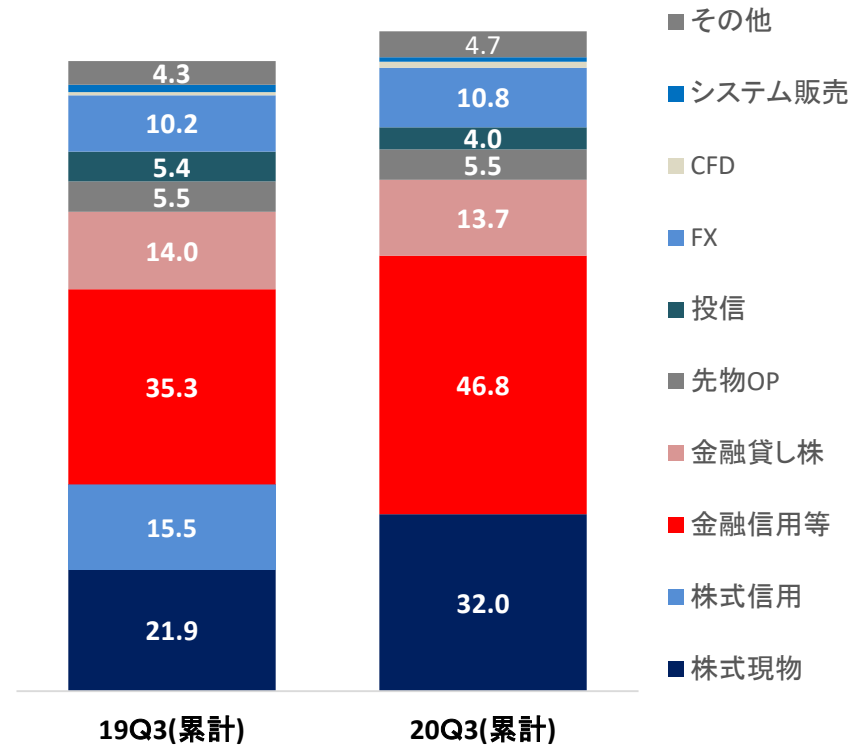
純営業収益：前年対比

- 市況好調により純営業収益は+5.3億円。
- 一方、信用手数料の無料化影響を、金融収支の増加ではカバーできず。

純営業収益増減内訳(億円)



純営業収益内訳構成(億円)



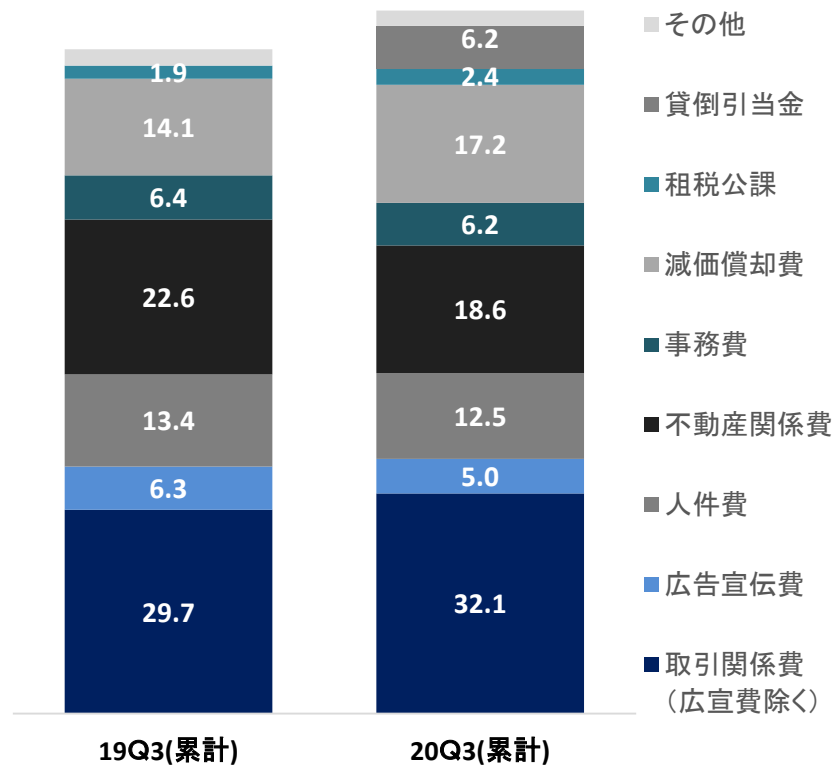
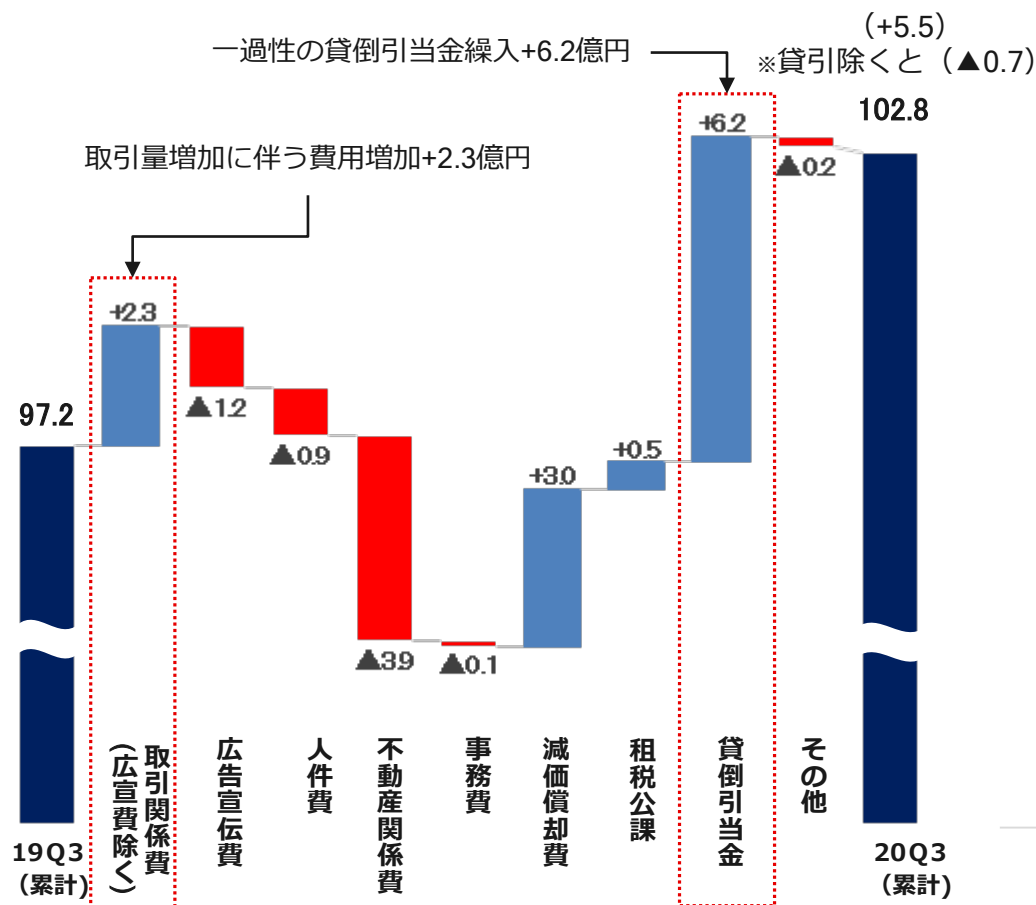
※ 第二小数点以下切捨のため、増減は完全に一致はしない

販管費：前年対比

- 取引増加に伴う取引関係費+2.3億円と貸倒引当金+6.2億円で、販管費は+5.5億円。
- なお、貸倒引当金を除けば、▲0.7億円。

販管費増減内訳(億円)

販管費内訳構成(億円)



※ 第二小数点以下切捨のため、増減は完全に一致はしない

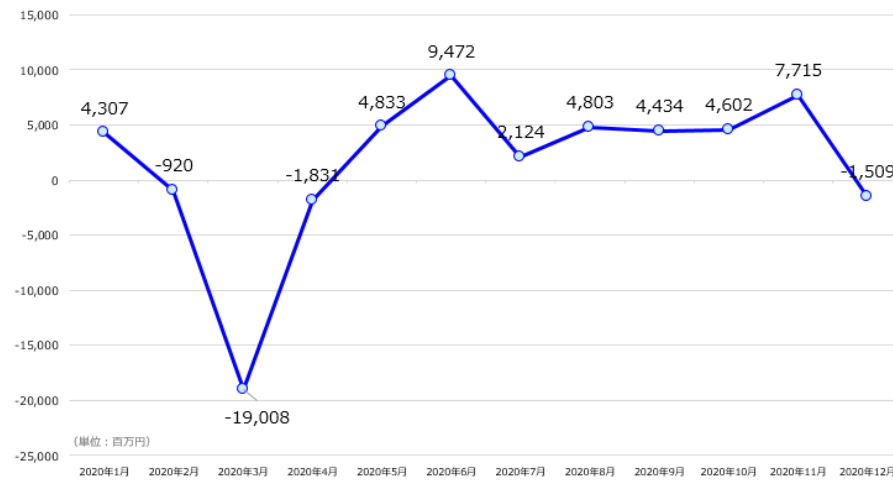
※ 不動産関係費 = 不動産費(支払家賃) + 器具備品費(システム経費)。減価償却費は、システム投資によるものが主

- 信用評価損益率(買残)は緩やかに改善傾向、二市場全体との較差(買残)は高水準を維持。
- 現物株式の実現損益は、税務処理上の損益通算を見越したお客様による損切りが多く、12月のみ下落。一方の信用取引は横ばいを維持。

＜二市場全体とauカブコムの信用評価損益率(買残)の推移＞



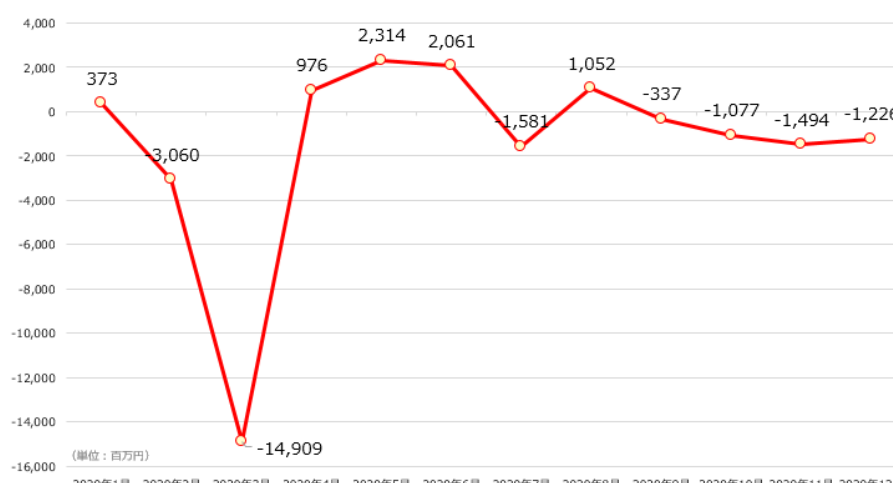
＜現物株式の実現損益(月平均)の推移＞



＜信用評価損益率(買残)二市場全体との較差の推移＞



＜信用取引の実現損益(月平均)の推移＞



※取引所公表数値等より当社作成。データは一般信用を含んだデータです。

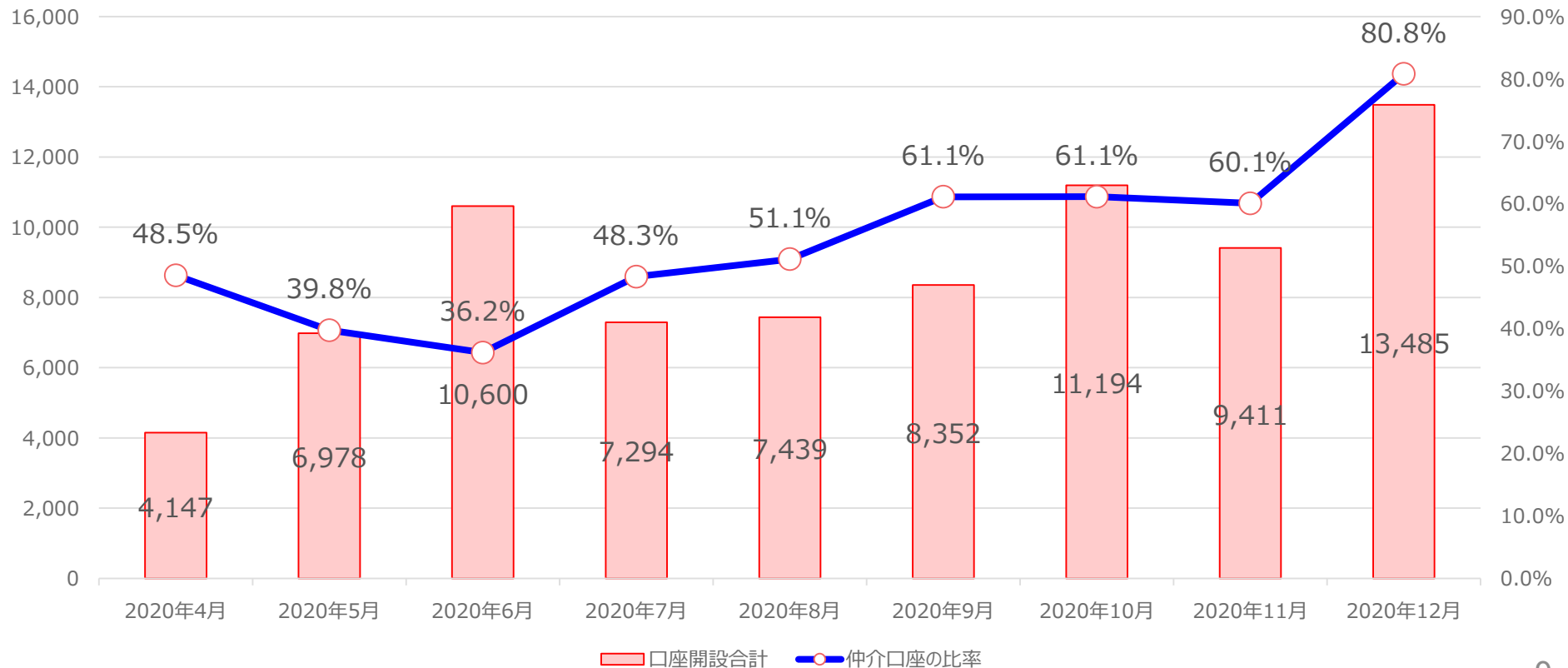
- 12月には「仲介口座」の比率が8割超え。KDDI・auじぶん銀行からの口座が大宗。
- プロモーション強化により、KDDI・auじぶん銀行からの新規口座の獲得が拡大傾向。

☆10月：Pontaポイントがたまるステージ制キャンペーン実施！

：新規FX口座開設&お取引でPontaポイント 最大300,000Pプレゼント！

☆12月：おトクな2つの信用取引キャンペーンを実施

<当社の月ごと総合口座開設数の推移と仲介口座の比率推移>



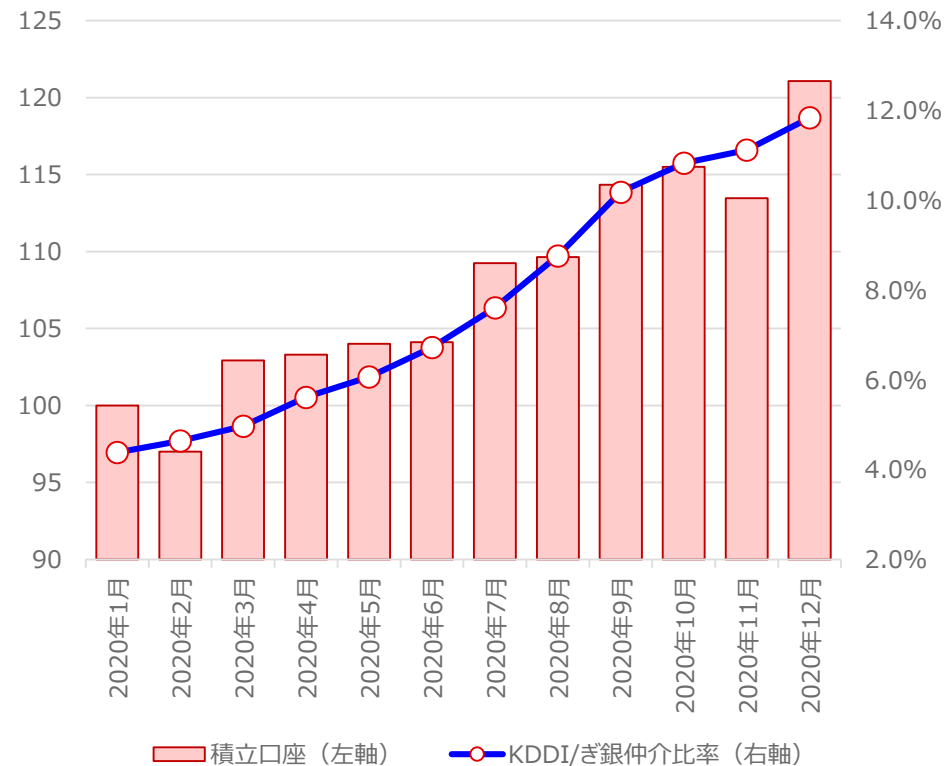
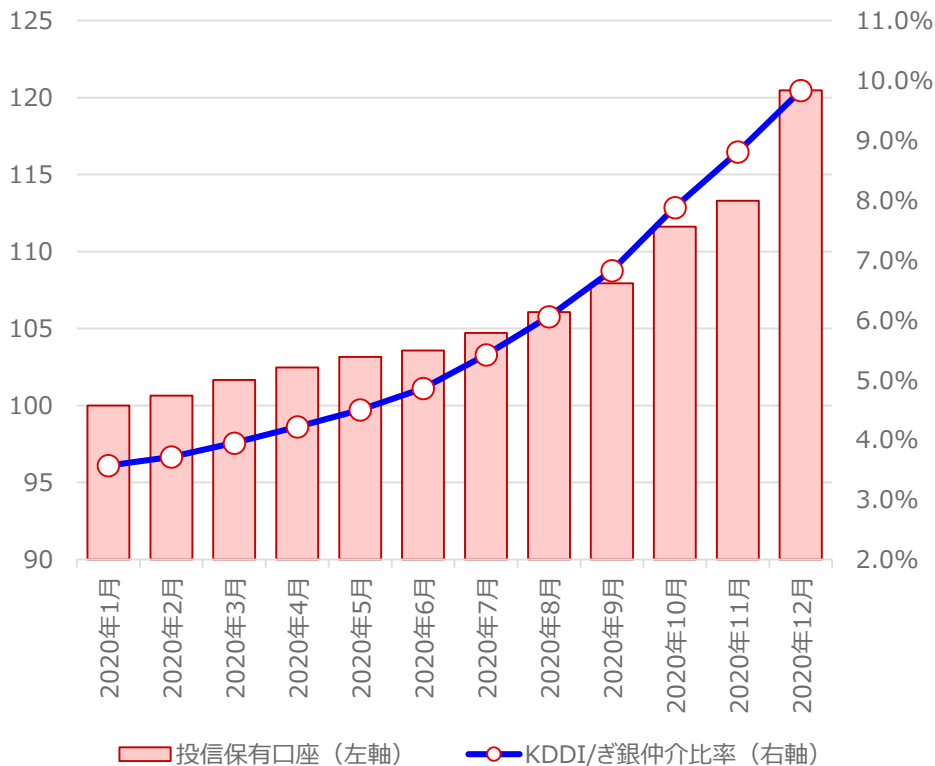
- 好市況やプロモーション効果もあり、KDDIやauじぶん銀行の資産形成層にあたるお客さまによる投資信託のお取引が増加傾向。

☆9月：ポイント投資（ポイントで投資信託購入）提供、ポイント投資デビュー応援キャンペーン

☆10月：Pontaポイントがたまるステージ制キャンペーン実施！

＜投資信託保有口座の推移とKDDI・auじぶん銀行仲介比率＞

＜投資信託積立口座の推移とKDDI・auじぶん銀行仲介比率＞

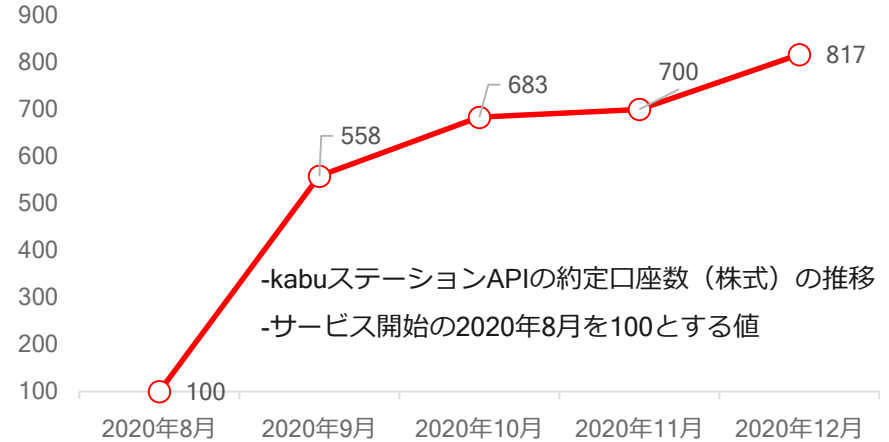


※図1及び図2の口座数は、2020年1月を100とした2020年12月までの推移を表しています。

■ BaaSプロダクトラインアップの拡大を加速

- ・ 2012年 kabu.comAPI (株式・先物オプション) を提供開始
- ・ 2013年 auじぶん銀行に店頭FXシステムをホワイトラベル提供
- ・ 2016年 三菱UFJモルガン・スタンレー証券にオンライン取引システムを提供
- ・ **2020年 kabu.comAPIラインアップ拡充 (投資信託・FX)**
- ・ **2020年 個人投資家向けにREST形式APIの提供を開始**
- ・ **2021年 貸株SaaSシステムをむさし証券に提供予定 (予定)**

■ 個人向けAPIの利用はサービス開始以来、急増



■ API事業はラインアップ拡充・新仲介法制の進展により大型協業パイプラインが進捗



監牢な証券システムインフラとAPI利用による開発コストの低コスト化

相場情報のみならず発注機能を具備した
執行機能をAPI化

与信チェックや口座属性チェックなどを
備えた機能性

kabu.com API
株式・先物オプション・投資信託・FX (2020年2Q~)

証券システムインフラ

- 「kabuステーション® API」新ラインナップに、先物取引・オプション取引機能を拡充。
- 高度な分析機能とカスタマイズ性を備えたチャートツール「EVERチャート」をリリース。

個人投資家向けAPIに先物・オプションを追加

個人投資家のお客さま向けのREST形式でのAPI(Application Programming Interface) 発注環境として無料で提供しております「kabuステーション® API」新ラインナップとして、先物取引および、オプション取引に対応する機能拡充をおこないました。

また、2020年10月9日(金)より、当社システム部門の社員が様々な情報をお届けするブログ「au Kabucom Engineer Blog」を開設いたしました。



2020-10-13

国内証券唯一となるRESTful APIの公開背景

kabuStationAPI

2020年8月20日に kabuステーション APIを公開させていただきました。実は、この構想は1年以上前からあったのですが、紆余曲折しながらようやく公開までこぎつけることができました。今回は、なぜこのタイミングで個人向けの公開なのか？という点に関して語っていきま...

個人投資家向け高質プログラミング発注基盤

kabu STATION API

「個人投資家に、デジタルの武器を。」

採用について

auカブコム証券では一緒に働く仲間を募集しています。

採用情報

2020-10-09

AWSにおけるセキュリティについて

aws security

こんにちは。auカブコム証券 システム開発部所属の吉井です。当社のエンジニアリングブログが公開されましたので、さっそく初投稿です。はじめに当社では、事業者向けのkabu.com APIを筆頭に、各種システムの開発環境などがAWS上で稼働しています。AWS上で稼働す...

2020-10-09

"au Kabucom Engineer Blog"公開しました！

2020年10月9日、"au Kabucom Engineer Blog"公開しました。 auカブコム証券では「すべてのひとに資産形成を。」を合言葉に日々、システム開発・運用に邁進しております。本ブログではauカブコム証券で行われている技術的チャレンジや、当社に存在する課題とそれに対す...

新チャート分析ツール「EVERチャート」をリリース

より高度なテクニカル分析を求めめるお客さまのご要望にお応えし、新規で31種類のチャートを追加。合計66種類のチャート機能を搭載した、分析力・カスタマイズ性・デザイン性に富んだ高機能チャートです。なお今後は、スマホ対応版や、EVERチャートから直接発注できる機能、自動売買機能、SNS連携なども検討しており、お客さまの資産形成に貢献できるよう、よりお取引に便利なサービス提供に努めてまいります。

<EVERチャートの特長>

1. OS/ブラウザの制約なしで利用可能！（※推奨環境あり）
2. 登録可能銘柄数は最大250銘柄
3. 合計66種類の豊富なテクニカル分析



- 不正アクセスによる資金流出の社会問題化を受けて、継続的にセキュリティ強化に着手。
- 二要素認証を導入し、今後は多要素認証など、より強固にお客さまの資産の安全確保を実施。

二要素認証の導入

当社ではお客さまのお口座の安全確保のために継続的な対応を行っております。2021年1月4日には、出金依頼を受け付ける際の二要素認証を導入いたしました（2020年12月26日プレスリリース）。

具体的にはお客さまに、今までの出金専用パスワードに加え、確認コード（ご登録の携帯番号または電子メールに当社から送信）をご入力いただきます。これにより、従来以上の強固な安全確保が図れます。

二要素認証とは

「ID+パスワード」という要素一式での認証に加え、①「記憶（本人だけが知っている情報）」、②「所持（本人だけが所有している情報）」、③「バイOMETRICS情報（本人自身の身体的な特性情報）」のいずれか揃わないと認証が通らない仕組みの事。またこの仕組みにより、セキュリティの強化を図る手法のこと。

<2021年以降の対応方針>

二要素認証導入以降も、セキュリティ強化に向けた施策を継続的に行なってまいります。その1つとして、多要素認証の導入を検討・準備しております。お客さまの大切な資産のさらなる安全性を確保するとともに、シームレスでストレスのないお取引環境の実現を目指してまいります。

不正アクセスに対するこれまでの対応

11/26	ログインパスワード設定を6桁以上16桁までの英数字（大文字・小文字）に記号「@#%^&* _+-.:,」を追加し、さらに複雑なパスワード設定が可能に。
10/22	第三者が容易に変更できないように、電話番号やメールアドレスを変更する際の認証に、マスク化した現在の電話番号かメールアドレスの入力を必要とする対応を実施
10/15	あらかじめ登録いただいていた通知先メールアドレスに「出金依頼受付のお知らせ」を配信 お客さまの基本情報の中で、ご登録の電話番号、FAX番号、メールアドレスについてもマスク化を実施
9/16	当該証券会社より不正アクセスによる資金流出の発表。 WEBでの出金先口座登録・変更手続きを停止、書面による手続きと「お客様サポートセンター」での手続きに限定、ご案内をサイトに掲載。 7/1～9/16にWEBでの出金先口座登録・変更手続き（10,005件）を特定し、お客さまの影響を調査開始。
9/17	IPアドレス情報等を、総合リスク管理プラットフォームである「CRISP」で、過去1年間のアクセス状況と照合する方法で全件調査を行い、お客さまへの影響がないことを確認、不正アクセスによる資金流出がない旨の報告を掲載。
9/30	出金パスワード設定を6桁以上16桁までの英数字（大文字・小文字）に記号「@#%^&* _+-.:,」を追加し、さらに複雑なパスワード設定が可能に。 お客さまの基本情報の中で、郵便番号、ご住所、生年月日、ご利用金融機関の口座番号の一部のマスク化、万一の場合でもお客さまの情報の漏洩を防止。

- B2C：主要ネット証券初！銘柄や売買タイミングを投資助言するロボアドをリリース予定。
- B2B：証券会社の自社のお客さま向け証券プラットフォーム「貸株サービス」を提供予定。

信用取引のロボアドを提供開始

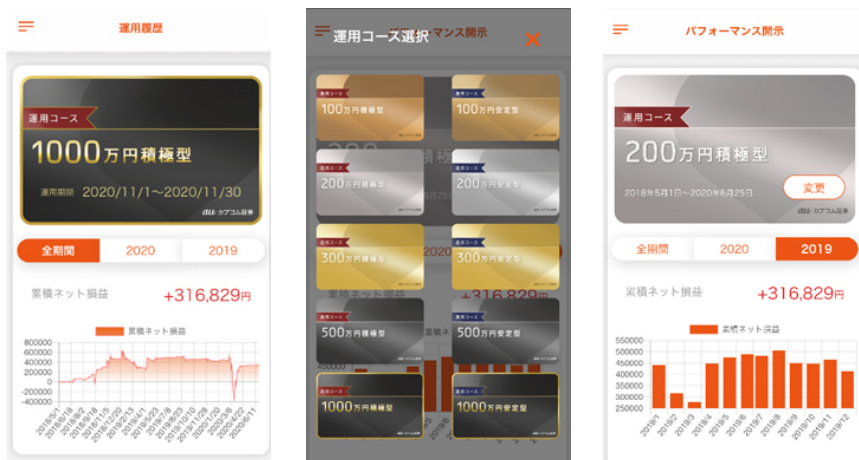
auカブコム証券では、投資助言型ロボットアドバイザーサービス「信用ロボアド」の提供を開始いたします。（2021年2月予定）

「信用ロボアド」は、信用取引を投資助言するロボットアドバイザーサービスです。

信用取引で運用することで、ヘッジファンドのように相場に左右されにくい運用と、ロボットアドバイザーによる厳格なリスク管理で高い運用パフォーマンスを提供いたします。

<信用ロボアドの特長>

1. お客様のニーズに応じたプラン
2. 相場に左右されにくい収益機会を提供
3. 投資助言型によるサービス提供
4. 発注の手間を省力化する「発注アシスト機能」



「貸株サービス」をSaaS形式で提供

auカブコム証券では、証券プラットフォームへの進化、B2Bビジネス拡大のため、証券ビジネスのパーツとして「貸株サービス」をSaaS形式で開放し、現在証券会社向けにサービスを行っているレンディング（貸借取引）プラットフォームのラインアップとして、証券会社の投資家の保護預り有価証券をauカブコム証券へレンディングしマネタイズするシステム・サービスを提供いたします。（2021年7月予定）

<利用証券会社のメリット>

1. 投資家に「貸株サービス」を平易に提供することが可能となり、投資の多様化、投資家の維持・囲込みの機会を得ることが可能になります。
2. 投資家からの借入れ株券は、auカブコム証券レンディングプラットフォームの貸付け申込機能と連携する事により、レンディングマーケットでの運用機会を増やすことができ、事業収益の拡大に貢献いたします。

■ 構築サービスのイメージ図



日付	タイトル
10月7日	Pontaポイントがたまるステージ制キャンペーン実施！
10月16日	他社の資金流出を受けて当社の対応
10月16日	【くりっくフェスタ協賛キャンペーン！】くりっく365新規口座開設 & お取引で最大10万円プレゼント！
10月16日	シストレFX®2通貨ペア（ユーロ/ドル、ポンド/ドル）スプレッド縮小キャンペーン
10月16日	【はじめてのシストレFX®】新規FX口座開設 & お取引でPontaポイント 最大300,000Pプレゼント！
10月21日	口座開設がオンラインで完結！最短翌営業日にはお取引が可能に！
10月23日	格付取得に関するお知らせ
10月26日	個人投資家向けAPIに新ラインナップとして先物・オプションを開放
11月27日	新チャート分析ツール「EVER チャート」をリリース！
12月4日	他社の資金流出を受けて当社の対応 第三弾
12月18日	おトクな2つの信用取引キャンペーンを実施

https://kabu.com/company/pressrelease/20201021_1.html

口座開設がオンラインで完結！最短翌営業日にはお取引が可能に！

～ eKYC導入によりお手続きがより便利になりました～

2020年10月21日 [お知らせ](#)

auカブコム証券株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：齋藤正勝、以下「auカブコム証券」）は、口座開設をより便利に簡単にするための完全ペーパーレスによる口座開設の拡充をいたします。auカブコム証券は2018年からスマートフォンのアプリ「スマート証券口座開設」でマイナンバーカードとスマートフォンのNFC機能を利用した完全ペーパーレスでの口座開設手続きを可能（※1）にするなど、KYC改善に取り組んでまいりました。今回、新たに「eKYC」（※）を活用した顔写真の撮影による本人確認を実施する事で、スマートフォンのWebブラウザからの口座開設のお申込においても、完全ペーパーレスでの口座開設が可能となりました。

（※）「eKYC」とは「Electronic Know Your Customer」の略で、電子的本人確認が出来る事で対面や紙の書類を使わなくても本人確認が行えるようになる仕組みの事です。

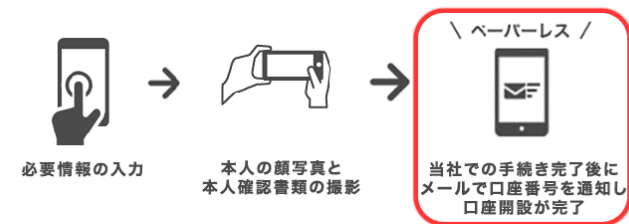
従来の口座開設



eKYCの顔写真の撮影による口座開設（NEW！）

<ポイント！>

- 本人限定郵便がメール通知に！（本人が家にいなくても大丈夫！）
- 画像アップロードがセルフイー撮影で簡単便利に！
- 最短翌営業日からのお取引が可能！



ペーパーレスによる口座開設は、従来の口座開設と比べて郵送のステップが不要となる事で3ステップ、最短翌営業日にはお取引が可能となります。（※2） auカブコム証券は、今後もお客様に便利なサービスを提供してまいります。

（※1）マイナンバーカードとNFC機能を利用した口座開設 「スマート証券口座開設アプリ」
https://kabu.com/company/pressrelease/20180320_1.html

（※2）従来の口座開設の方法でも引き続きお申込は可能です。

https://kabu.com/company/pressrelease/20201023_1.html

格付取得に関するお知らせ

2020年10月23日 お知らせ

格付取得に関するお知らせ

auカブコム証券株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 齋藤正勝、以下「当社」という）は、株式会社日本格付研究所（JCR）より、以下のとおり信用格付を取得しましたので、お知らせいたします。

格付機関	格付対象	格付	見通し	更新日
日本格付研究所	長期発行体格付	A+	安定的	2020年10月23日
日本格付研究所	短期発行体格付	J-1		2020年10月23日

当社の格付は2007年6月29日の格上げ以降A+を維持しており、また見通しも「安定的」で据え置かれております。

詳細につきましては、日本格付研究所（JCR）のWEBサイト（<https://www.jcr.co.jp/>）をご参照ください。

https://kabu.com/company/pressrelease/20201204_1.html

他社の資金流出を受けて当社の対応 第三弾

～ 二要素認証を導入し、お客さまにさらなる安全な取引環境を提供 ～

2020年12月4日 お知らせ

auカブコム証券株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 齋藤正勝、以下「当社」という）は、2020年9月16日に他の証券会社において悪意のある不正アクセスにより、お客さまの資金が流出する被害が発表されたことを受けて、当社ではお客さまのお口座の安全の確保のため、継続的な対応を行なっております。

12月の追加対応

■12/26より出金依頼時に二要素認証の導入

現在、当社では出金手続きにあたり出金専用パスワードをご入力いただいておりますが、二要素認証導入後は、出金専用パスワードの入力に加え、ご登録の携帯番号、または電子メールへ確認コードを送信し、その確認コードをご入力いただくことで出金を受付いたします。

※二要素認証にはSMS（ショートメッセージ）または電子メールが受信可能な通知先の登録が必要となりますので、事前に当社へSMS（ショートメッセージ）の受信が可能な携帯番号、または電子メールアドレスのご登録をお願いいたします。

二要素認証とは

「ID+パスワード」という1つの要素だけで認証していたものにプラスして、①「記憶（本人だけが知っていること）」、②「所持（本人だけが所有しているもの）」、③「バイオメトリクス情報（本人自身の特性）」のいずれかが揃わないと認証が通らない仕組みで、セキュリティの強化を図る手法のことです。

今後の対策

■12月10日

三菱UFJ銀行との新規口座開設の取り組みにおいて、お客さまが登録する初期パスワードに、英数字（大文字・小文字）に記号「@#\$%^&* _+=:;,」を追加し、さらに複雑なパスワード設定が可能になります。

■2021年以降の対応・対策

多要素認証を導入することで、安全・安心はもちろんのこと、お客さまにストレスなくお取引いただける環境実現を目指してまいります。

- **企業・開示情報** <https://kabu.com/company/>
- **決算短信・決算説明資料** https://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.html
- **口座数・約定情報等の推移** https://kabu.com/company/monthly_disclosure/order/default.html
- **顧客投資成績（信用評価損益率）の推移** https://kabu.com/company/monthly_disclosure/score/default.html
- **システムレポート** https://kabu.com/company/monthly_disclosure/system/default.html
- **店頭FX取引に係るリスク情報に関する開示** https://kabu.com/company/disclosure/fx_risk/default.html

■ お取引にあたってご注意いただきたい事項

各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。当社ホームページにて取引内容、リスク等の説明内容事項をご覧ください。

※証券投資は、価格変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は必ず約定するものではありません。

お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

※投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書商品毎 および目論見書補充書面投資信託をよくお読みください。

※信用取引・指数先物取引・指数オプション取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える 大きな損失を被ることがあります。又、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。

※外国為替証拠金取引FXは、取引金額がお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。又、外国為替証拠金取引は元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。

※外国債券の価格は、金利水準の変動により上下するため、償還前に売却する場合には、元本損失が生じることがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。外国債券は、為替相場の変動等により、元本損失が生じたり、債券を発行する組織発行体が所属する国や地域、取引がおこなわれる通貨を発行している国や地域の政治・経済・社会情勢に大きな影響を受けたりするおそれがあります。外国債券を購入する場合は、委託手数料はかかりませんが、売買における売付け適用為替レートと買付け適用為替レートには差額があります。上記、適用為替レートは債券の起債通貨によって異なり、実勢レートに基づき当社が決定します。

※お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

※各商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ<https://kabu.com/cost>等をご参照ください。手数料には消費税が含まれています。

※掲載情報の最新情報は当社ホームページ<https://kabu.com/>にてご確認ください。

◆ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちらをご参照ください。 <https://kabu.com/company/pressrelease/info/escapeclause.html>